



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東  
 コード番号 3904 URL http://www.kayac.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 柴田 史郎 (TEL) 0467-61-3399  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	6,232	37.4	505	—	512	—	441	—
2019年12月期第3四半期	4,537	6.7	△558	—	△587	—	△234	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 380百万円(—%) 2019年12月期第3四半期 △414百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	29.06	28.80
2019年12月期第3四半期	△15.50	—

(注) 2019年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	6,136	2,472	39.0
2019年12月期	5,682	2,060	35.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,390百万円 2019年12月期 1,986百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	20.6	500	—	460	—	370	—	24.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	15,201,600株	2019年12月期	15,157,200株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	164株	2019年12月期	164株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	15,179,167株	2019年12月期3Q	15,148,472株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、持ち直しの動きがみられております。他方、減少に向かった新型コロナウイルスの新規感染者数が欧米地域において、10月から再び大きく増加するなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、2019年のスマートフォン保有率が前年比4.2%ポイント上昇の83.4%となり、モバイルでのインターネット環境は引き続き発展を続けております(出所:総務省「令和2年版情報通信白書」)。当社が注力するインターネット広告市場についても、2019年の市場規模は前年比14.8%増の1兆6,630億円となり、2020年は1兆8,459億円へ拡大することが見込まれております(出所:電通「2019 日本の広告費」)。また、国内オンラインゲームの市場規模は2019年に前年比4.9%増の1兆2,962億円となり、安定的に成長しております(出所:KADOKAWA「ファミ通ゲーム白書2020」)。

このような事業環境の中で、当社グループはより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なデジタルコンテンツを提供し続けております。その中でも、クライアントワーク、ゲーム、ゲームコミュニティ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSブライダルプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,232,804千円(前年同期比37.4%増)、営業利益は505,406千円(前年同期は営業損失558,933千円)、経常利益は512,828千円(前年同期は経常損失587,048千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は441,137千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失234,742千円)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントではありますが、サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

#### ① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。また、当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する領域も拡大しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件が増加傾向にありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、リアルイベントの開催中止・延期などが発生しております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、1,455,655千円(前年同期比6.1%減)となりました。

#### ② ゲーム

「ぼくらの甲子園!ポケット」、「キン肉マン マッスルショット」、ハイパーカジュアルゲーム、(株)カヤックアキバスタジオでの受託ゲーム開発が売上高の大部分を占めています。ハイパーカジュアルゲームの「Park Master」、「Noodle Master」、「Paint Dropper」は全世界で合計1億ダウンロードを超え、好調に推移しております。(株)カヤックアキバスタジオでの受託案件も拡大基調にあります。この結果、ゲーム関連の売上高は3,010,894千円(前年同期比85.8%増)となりました。

#### ③ ゲームコミュニティ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しています。ウェルプレイド(株)のesports事業、スマートフォンゲームに特化したコミュニティの「Lobi」、トーナメントプラットフォームの「Toname1(トナメル)」が売上高の大部分を占めております。当第3四半期連結累計期間におけるToname1の大会開催数は前四半期比5.3%増の1,814件となり、着実に成長を続けております。この結果、ゲームコミュニティ関連の売上高は、1,040,634千円(前年同期比42.5%増)となりました。

#### ④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「SMOUT」、通貨コミュニティサービスの「まちのコイン」、地域プロモーションの受託、鎌倉市内で展開するまちづくり事業などのサービスが売上高の大部分を占めております。SMOUTのユーザー数は前四半期末比37%増の1.96万人となり、順調に拡大しております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は、212,144千円(前年同期比165.7%増)となりました。

#### ⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う業績悪化傾向から

は脱したものの、引き続き売上は低調に推移しております。他方、子会社で展開する不動産仲介サービスは緩やかな回復傾向にあります。この結果、その他サービス関連の売上高は、513,475千円（前年同期比7.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ453,603千円増加し、6,136,341千円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加969,496千円、受取手形及び売掛金の減少221,557千円、有形固定資産の減少189,269千円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ42,188千円増加し、3,664,334千円となりました。主な要因は、流動負債の増加251,068千円、長期借入金の減少213,243千円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ411,415千円増加し、2,472,006千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加456,761千円、その他有価証券評価差額金の減少69,257千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は、2020年8月13日公表の「2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の通期予想に対して、101.1%及び111.5%と高い進捗率になっております。当第4四半期においても営業黒字となる可能性が高いと考えておりますが、事業特性による不確実性や開示基準を踏まえ、現時点では通期予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,256,044	2,225,541
受取手形及び売掛金	1,452,615	1,231,057
仕掛品	152,613	219,204
その他	250,639	159,396
貸倒引当金	△41,086	△43,246
流動資産合計	3,070,826	3,791,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	914,054	853,271
土地	690,478	583,356
その他(純額)	76,998	55,633
有形固定資産合計	1,681,532	1,492,262
無形固定資産		
のれん	195,505	159,253
その他	212,624	231,220
無形固定資産合計	408,130	390,473
投資その他の資産		
投資有価証券	299,384	216,767
その他	232,853	254,874
貸倒引当金	△9,989	△9,989
投資その他の資産合計	522,248	461,652
固定資産合計	2,611,910	2,344,388
資産合計	5,682,737	6,136,341
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	300,190	292,935
短期借入金	110,000	105,000
1年内返済予定の長期借入金	599,716	648,948
未払金	208,279	332,986
未払費用	231,178	210,524
未払法人税等	31,228	117,602
その他	210,111	233,775
流動負債合計	1,690,703	1,941,771
固定負債		
長期借入金	1,907,915	1,694,672
その他	23,528	27,890
固定負債合計	1,931,443	1,722,562
負債合計	3,622,146	3,664,334

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	515,732	523,933
資本剰余金	462,073	470,273
利益剰余金	925,672	1,382,434
自己株式	△208	△208
株主資本合計	1,903,269	2,376,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82,964	13,707
その他の包括利益累計額合計	82,964	13,707
新株予約権	48,067	47,434
非支配株主持分	26,288	34,432
純資産合計	2,060,591	2,472,006
負債純資産合計	5,682,737	6,136,341

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	4,537,233	6,232,804
売上原価	3,734,615	3,481,814
売上総利益	802,617	2,750,989
販売費及び一般管理費	1,361,550	2,245,582
営業利益又は営業損失(△)	△558,933	505,406
営業外収益		
受取利息	276	527
受取配当金	1,177	204
補助金収入	500	—
助成金収入	2,160	25,387
投資有価証券売却益	—	2,100
その他	812	9,482
営業外収益合計	4,926	37,701
営業外費用		
支払利息	2,283	4,908
投資有価証券評価損	21,000	—
為替差損	1,731	19,641
持分法による投資損失	7,490	5,326
支払手数料	500	—
その他	36	403
営業外費用合計	33,041	30,280
経常利益又は経常損失(△)	△587,048	512,828
特別利益		
投資有価証券売却益	288,611	—
固定資産売却益	—	60,857
特別利益合計	288,611	60,857
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△298,436	573,686
法人税、住民税及び事業税	13,643	119,271
法人税等調整額	△58,808	4,161
法人税等合計	△45,164	123,432
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△253,272	450,253
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18,529	9,115
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に 帰属する四半期純損失(△)	△234,742	441,137

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△253,272	450,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161,353	△69,257
その他の包括利益合計	△161,353	△69,257
四半期包括利益	△414,625	380,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△396,095	371,880
非支配株主に係る四半期包括利益	△18,529	9,115

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。